

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	社会福祉法人ねりま共育ちの会 どんぐり山保育園
所在地	東京都練馬区春日町 4-1-13

1. 活動のテーマ

【テーマ】

五感で楽しむ「しずくあそび」 / 4歳「うみ組」

【実施時期】

2025年8月

【テーマの設定理由】

身近で毎日触れたり飲んだりしている「水」の一滴と出会い直し、遊ぶことで五感を通してその特徴に触れ、雨（水）の巡りに気付くきっかけとする。また、しずくの美しさや不思議との出会いを通して、豊かな感性や好奇心を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

AM 09:15～	ウレシパモシリ園入り ウレシパモシリスタッフは、園での環境設定・準備 <input type="checkbox"/> ブルーシート <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> ペットボトル3色分作成 <input type="checkbox"/> 2人で1セットの色水セットのセッティング <input type="checkbox"/> 紙皿
09:45～	ウレシパモシリ自己紹介 絵本「しずくみつけた」 しずくにご挨拶
09:50～	【あそびの導入】 水をつぶ「しずく」を作ってみよう（自分の腕や手に） <input type="checkbox"/> スポイト：1人1本 <input type="checkbox"/> 透明プラカップ（小） <input type="checkbox"/> タオル（小）
10:00～	【あそびの展開①葉っぱの上にしずくを作ってみよう】 ・いろいろな葉っぱにしずくを作ってみる ・スペシャルの葉っぱ（カツラ、クズ）にしずくを作ってみる 【あそびの展開②色のしずくをつかまえて、にじみ絵を作ろう】 ・色水でしずくを作ってみる

	<ul style="list-style-type: none"> ・混ざり合っでできた色をつかまえよう ・何にみえるかな？（台紙に子どもの言葉を大人が記入します。ご協力ください） <p> <input type="checkbox"/>障子紙を張った画用紙の台紙（人数分） <input type="checkbox"/>白いクレヨン <input type="checkbox"/>障子紙予備 <input type="checkbox"/>キッチンペーパー </p> <p>【あそびの展開③色水で乾杯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1色の透明カップを持って「乾杯！色水く～ださい」 ・できた色水を並べてみよう（色のグラデーション） ・大きな障子紙にみんなで色水を垂らしてみよう
11:00～	<p>【あそびのシェアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり山保育園絵画展開催！（おともだちの作品を見てみよう） ・自分の気持ちを言葉にしたい子どもからお話を聞く
11:15	終了

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・新聞紙（多めにお願いします）
- ・雑巾（こぼした時用）
- ・絵の具3色（青・赤・黄）
- ・白いクレヨン：画用紙に書けるもの、ご協力いただける大人の人数分
- ・セロハンテープ
- ・スポイト
- ・透明プラカップ
- ・紙皿
- ・ペットボトル
- ・絵本2冊
- ・葉っぱ
- ・キッチンペーパー
- ・障子紙：大3枚、小×人数分
- ・障子紙を張るような台紙×人数分

4. 探究活動の実績

【活動の内容】

ウレシパモシリの講師を招き、「しずく」をテーマにした活動を行った。

はじめに、葉の上に水滴を垂らし、葉の種類によってしずくがすぐに転がり落ちたり、大きな粒になったりする様子を観察した。子どもたちは、しずくの動きや変化に興味を持

ち、不思議さを感じながらじっくりと見つめる姿が見られた。

その後は、水に絵の具で色を付け、色水を使った遊びを楽しんだ。色を混ぜることでもさまざまな色へと変化していく様子を発見し、「もっといろいろな色を混ぜよう」と、友達と一緒に試しながら夢中になって取り組む姿が見られた。

【活動の様子】



【振り返り】

ウレシパモシリの講師を中心に活動を進めた。活動の中では、保育者の予想以上に夢中になって取り組む子どもの姿が多く見られた。一度活動から離れた子どもも、講師との関わりを通して再び興味を持ち、自ら活動に戻る姿が見られるなど、子どもの興味や意欲を引き出す関わり方の大切さを実感した。

また、活動後の振り返りでは、子どもの発見を尊重する関わり方や、自然物や天候を生かした遊びについて学ぶことができた。今回の学びを今後の保育にも生かし、子どもたちが主体的に自然を探究できる環境づくりにつなげていきたい。